

令和7年度 喀痰吸引等研修基本研修（講義）カリキュラム

☆講義担当講師 東北文教大学短期大学部現代福祉学科 講師 伊藤 就治 氏

☆1日目～7日目 オンライン（Zoom）研修

☆講義開始 15 分前から入室可能 / お昼休憩は 12:10～13:00（50 分）を予定

【1日目】 令和7年7月28日（月）

大項目	中項目（時間数）	時間
オリエンテーション・開講式		9:00～9:15
1 人間と社会	(1) 介護職と医療的ケア (0.5)	9:15～17:35
	(2) 介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度 (1.0)	
2 保健医療制度とチーム医療	(1) 保健医療に関する制度 (1.0)	
	(2) 医療的行為に係る法律 (0.5)	
	(3) チーム医療と介護職員との連携 (0.5)	
3 安全な療養生活	(1) 喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 (2.0)	
4 清潔保持と感染予防	(1) 感染予防 (0.5)	
	(2) 職員の感染予防 (0.5)	
	(3) 療養環境の清潔、消毒法 (0.5)	

【2日目】 令和7年7月29日（火）

大項目	中項目（時間数）	時間
4 清潔保持と感染予防	(4) 滅菌と消毒 (1.0)	9:00～17:50
5 健康状態の把握	(1) 身体・精神の健康 (1.0)	
	(2) 健康状態を知る項目（バイタルサインなど）(1.5)	
	(3) 急変状態について (0.5)	
6 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」概論	(1) 呼吸のしくみとはたらき (1.5)	
	(2) いつもと違う呼吸状態 (1.0)	
	(3) 喀痰吸引とは (1.0)	

【3日目】 令和7年8月5日（火）

大項目	中項目（時間数）	時間
6 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」概論	(4) 人工呼吸器と吸引 (2.0)	9:00～17:50
	(5) 子どもの吸引について (1.0)	
	(6) 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 (0.5)	
	(7) 呼吸器系の感染と予防（吸引に関連して）(1.0)	
	(8) 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 (1.0)	
	(9) 急変・事故発生時の対応と事前対策 (2.0)	

【4日目】令和7年8月6日（水）

大項目	中項目（時間数）	時間
7 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説	(1) 喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持（1.0）	9：30～16：40
	(2) 吸引の技術と留意点（5.0）	

【5日目】令和7年8月8日（金）

大項目	中項目（時間数）	時間
7 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説	(3) 喀痰吸引に伴うケア（1.0）	9：00～16：40
	(4) 報告および記録（1.0）	
8 高齢者および障害児・者の「経管栄養」概論	(1) 消化器系のしくみとはたらき（1.5）	
	(2) 消化・吸収とよくある消化器の症状（1.0）	
	(3) 経管栄養法とは（1.0）	
	(4) 注入する内容に関する知識（1.0）	

【6日目】令和7年8月18日（月）

大項目	中項目（時間数）	時間
8 高齢者および障害児・者の「経管栄養」概論	(5) 経管栄養実施上の留意点（1.0）	9：00～16：40
	(6) 子どもの経管栄養（1.0）	
	(7) 経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意（0.5）	
	(8) 経管栄養に関係する感染と予防（1.0）	
	(9) 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認（1.0）	
	(10) 急変・事故発生時の対応と事前対策（1.0）	
9 高齢者および障害児・者の「経管栄養」実施手順解説	(1) 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持（1.0）	

【7日目】令和7年8月19日（火）

大項目	中項目（時間数）	時間
9 高齢者および障害児・者の「経管栄養」実施手順解説	(2) 経管栄養の技術と留意点（5.0）	9：00～17：10
	(3) 経管栄養にともなうケア（1.0）	
	(4) 報告および記録（1.0）	

【8日目】集合研修

会 場：東北文教大学（山形市片谷地 515 番地）5 ページの会場地図参照
8 号館 教室、ホール（演習のみ）

持ち物：テキスト、講義資料、筆記用具、バインダー、内履き（スリッパ不可）、昼食、飲み物

【注意事項】

- ・演習は動きやすく汚れても支障のない服装で受講して下さい。（但し、襟ぐりの広くないもの）
また、冷房は使用しますが、換気を行うため体温調節が可能な服装をお願いします。
- ・昼食は各自でご準備ください。弁当・飲み物などのゴミはお持ち帰り下さい。

【8 日目】令和 7 年 8 月 27 日（水） 受付 9：00 開始 / 事務連絡 9：20～

大項目	中項目（時間数）	時間
3 安全な療養生活	(2) 救急蘇生法 (2.0)	9：30～11：30

項 目	内 容	時間
筆記試験	客観式問題（四肢択一）	13：00～14：00
救急蘇生法	(1)救急法教育人体モデルを用いた演習	14：30～16：30

令和7年度 喀痰吸引等研修基本研修（演習）カリキュラム

演習担当講師：東北文教大学短期大学部現代福祉学科 講師 伊藤 就治 氏
株式会社日本教育クリエイト 講師 鈴木 千恵 氏
株式会社日本教育クリエイト 講師 佐藤 有紀 氏

会 場：東北文教大学（山形市片谷地 515 番地）5 ページの会場地図参照
6 号館 2 階介護実習室

日 程：演習 前期 令和7年 9月13日（土）～14日（日）
演習 後期 令和7年10月 4日（土）～ 5日（日）

持ち物：テキスト、講義資料、筆記用具、バインダー、内履き（スリッパ不可）、昼食、飲み物

【注意事項】

- ・演習は動きやすく汚れても支障のない服装で受講して下さい。（但し、襟ぐりの広くないもの）
また、冷房は使用しますが、換気を行うため体温調節が可能な服装をお願いします。
- ・昼食は各自でご準備ください。弁当・飲み物などのゴミはお持ち帰り下さい。

【演習 1日目】 受付：9：00～

項 目	内 容	時間
演習 「喀痰吸引」 「経管栄養」	A 吸引シミュレーターを用いた演習 ・口腔内吸引（5回以上） ・鼻腔内吸引（5回以上） ・気管カニューレ内部（5回以上） ※評価表の手順どおりに実施できるまで行う。	9：30～17：00 ※A・Bに分かれて実施
	B 経管栄養シミュレーターを用いた演習 ・胃ろう又は腸ろう（5回以上） ・経鼻（5回以上） ※評価表の手順どおりに実施できるまで行う。	

【演習 2日目】 受付：9：00～

項 目	内 容	時間
演習 「喀痰吸引」 「経管栄養」	A 吸引シミュレーターを用いた演習 ・口腔内吸引（5回以上） ・鼻腔内吸引（5回以上） ・気管カニューレ内部（5回以上） ※評価表の手順どおりに実施できるまで行う。	9：30～17：00 ※A・Bを交代して実施
	B 経管栄養シミュレーターを用いた演習 ・胃ろう又は腸ろう（5回以上） ・経鼻（5回以上） ※評価表の手順どおりに実施できるまで行う。	
事務局からの諸連絡		演習終了後、 30分程度

東北文教大学 山形市片谷地 515 TEL 023-688-2298



【東北文教大学構内案内図】

- ・正面入り口（青の矢印）から入り駐車場へ（黄色のスペース）
- 講義：8/27(水)
歩道（ピンク）を進み、8号館（ピンクで囲んだ建物）へ
- 演習：演習前期 9/13(土)・14(日) 演習後期 10/4(土)・5(日)
歩道（オレンジ）を進み、6号館（オレンジで囲んだ建物）2階へ

